

患者の皆様へ

2017年11月1日
放射線科

現在、放射線科では、「急性呼吸促迫症候群 acute respiratory distress syndrome、以下ARDS」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2011年から2017年に当院でARDSの治療を受けた患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などが何のために、どのように使われているかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

急性呼吸促迫症候群（acute respiratory distress syndrome）患者におけるCT画像による予後予測因子の開発

2. 研究の意義・目的

ARDS患者さんのCT画像から得られた定量的データ（肺容量など）、その他の臨床検査項目と治療効果・予後との関係を調べ、新たな予後予測因子の開発を目指します。

3. 研究の方法

ARDS診断時の画像検査(CT)を用い、治療効果・予後との相関を調べます。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院放射線科教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院放射線科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院放射線科

医師 堀越 琢郎

043(222)7171 内線